



ちよっかがたじしん
直下型地震って、**どう**いう**地震**なの

たいりく なか お
大陸プレートの中に、**エネルギー**がたまって**起こる**

ちきゅう ひょうめん あつ じゅうすうまい がんせき いた
地球の表面は、厚さが70～100キロメートルの、十数枚の岩石の板で、おおわれて
います。この岩石の板をプレートといいます。プレートには、大陸プレートや海洋プレート
があり、大陸や海をのせて、ゆっくり動いています。そして、大きな地震は、プレートとプ
レートの境目で起こります。

ほっかいどう しこく たいへいようがわ かいいてい さかいめ
日本では、北海道から四国にかけての、太平洋側の海底が、プレートとプレートの境目に
あたっていて、この地域では、くり返し大きな地震が、起こっています。

ちよっかがたじしん かいよう たいりく なか お
直下型地震は、海洋プレートにおされる、大陸プレートの中に、エネルギーが、たまりす
ぎて起こる地震です。

しんげん あさ
震源が**浅い**

ちよっかがたじしん かんとうちほう ちゅうぶちほう ちか お じしん じしん
直下型地震は、関東地方や中部地方の地下で、よく起こります。この地震は、地震のエネ
ルギーが、それほど大きくななくても、震源が浅いために、大きな被害をこうむることが多い
のです。

とうきよう ねん え どじしん お ししや やく せんにな
東京では、1855年に、江戸地震が起こり、死者が約4千人にもなりました。また、
1894年の明治東京地震のときにも、31人の死者を出した地震が、起きています。

(監修・国司 真)

